

三年学年だより

No. 1

4月20日発行

3学年主任 岡村 直人

彼(敵)を知り己を知れば、百戦して危うからず

武田信玄の旗印「風林火山」でもおなじみの孫子の兵法にある言葉ですね。受験生諸君も聞いたことあるでしょう。あえて受験生諸君と声をかけるからには、「彼」とは目指すべき大学等でしょう。そして、「己」はまさに受験生である自分自身。この言葉には続きがあります。以下にその原文を載せましょう。

「彼を知り己を知れば百戦危うからず。

彼を知らずして己を知れば、一勝一負す。

彼を知らず己を知らざれば、戦う毎に必ず危うし」

解説はしませんが、「彼を知る」よりも「己を知る」事の方が重要だと言うことが分かりますね。学年集会で、「受験戦争」という言葉を使いましたが、この戦いの中で勝利者となるためには、まず第一に、自分自身をよく知る必要があります。では、知るべき「己」とは、自身の長所・短所でしょうか？そうするとまず思いつくのが、現在の学力(成績)や得意・不得意科目でしょう。得意を生かし、不得意を克服し、戦に臨む……。それも大切です。しかし、それだけではないでしょう。もっと自分自身を見つめてみましょう。「僕って集中力がない方だな……」ならば、短い時間を区切って、回数多く勉強してみてもどうでしょうか。

「僕は進学先で何を勉強したいんだろう……」ではまず、具体的な勉強目的を検討しませんか。いろいろな見方で、いろいろな自分が見えてきます。そんな自分自身を知っておけば、様々な戦の場で、適切な対処ができるのです。

己を知れば次に彼を知りましょう。3年の1学期にもなって、まだ進路の目標が決まっていないのはいかがなものでしょうか。戦になりません。将来何になりたいのですか？進学先で何を勉強したいのですか？敵がまず見えてこないと知りようがありません。

話は変わりますが、「百戦危うからず」とは100回戦って100回勝つと言うことではありません。100回戦っても負けはしないということです。自分自身をよく知り、相手(進路目標)のことをよく知れば、場合によっては「戦わない」という選択も可能です。最終的な学力が進路先に見合わないことに気付くかもしれません。自分の学びたいことや描く将来像とのミスマッチに気付くかもしれません。ならば、もっと自分自身に適した進路目標を再検索するべきでしょう。

さあ、これから受験戦争に臨む受験生諸君。早急に自分自身を見つめ直しなさい。そして、進路目標をまず設定しましょう。進路目標は、戦いを進めていく過程で変化するかもしれません。いや、変化する可能性を常に心得ておきましょう。3学年団は、そんな受験生を応援していくつもりです。